

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.31	02	HUGHUG赤ちゃん	08
今号の表紙	03	相談	09
新型コロナウイルス感染症 関連情報	04	情報	10
		元気いっぱい!!えび~にゃ商品券 購入申し込みを受け付け	12

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ
 2020対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分~17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

かきじゅんや、かく位置を、考えて書きました。
杉本小学校 渋谷柚羽さん(10歳)



写真

タイトル：コウホネ大好き
 撮影場所：貫抜川放水路
 撮影者：中新田在住
 森田正廣さん



編集雑記

子どもの頃によく見かけたハグロトンボ。ひらひらと優雅に飛び姿を見る機会が少なくなったと思うのは、生息数が減っているからなのか、見逃してしまっているからなのか。最近始めた休日の朝の散歩で出会えるかな。季節を楽しみながら過ごしたい。(M)



EBIBITO vol.31

えび人

「東柏5丁が海老名の中心地」

「あいさつ」から始めた地域づくり

6年前から東柏ケ谷五丁目自治会の会長を務め、昨年、自治会連絡協議会の会長に就いた柳下さん。「ほかの地域の自治会長さんと仲良くなって分かったことは、地域ごとに、吹く風が違ふこと。それぞれ特色があつて素晴らしいですよ」と自治会活動の魅力を話します。「趣味は金魚と話すこと」と、ユーモアもたっぷり。生き物好きが高じて仲間と作った小学校のピオトープや、42年目を迎えた市民レクリエーションなど、東柏ケ谷で自治会主導の活動を牽引してきました。柳下さんが自治会長就任時から心掛けたあいさつ運動も今ではすっかり定着しています。

新型コロナウイルスの影響で地域の人と会話をする機会が減り、話すことの大切さを改めて感じたという柳下さん。「新しく市民になった方も自治会を通じて一緒に地域コミュニティを作ってほしい。安全・安心で、ごみのないきれいな海老名を目標に、ワンチームで良くしていきたいですね」と、頬を緩ませます。



東柏小のピオトープ。生き物のお世話を子どもたちに伝授

地域の方との交流も欠かさず

今月のえび人

柳下泰介さん
(東柏ケ谷在住・72歳)

市内の59自治会を取りまとめる自治会連絡協議会の会長を務める。幼い頃から大の生き物好き。朝の日課は自宅で飼う2匹の金魚に餌をあげることに。